

資料編

1. 指針策定までの経緯
2. もみじ台地域まちづくり指針
検討委員会
3. 説明会・オープンハウス
4. もみじ台まちづくりニュース

1. 指針策定までの経緯

令和3年度から検討委員会やオープンハウスなどで意見を伺うほか、地域が作成したまちづくりビジョンでの意見も踏まえながら検討しました。

項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
もみじ台地域まちづくり指針検討委員会	第1回 (3月)	第2回 (9月) 第3回 (2月)	第4回 (8月)
説明会・オープンハウス		説明会 (12月)	オープンハウス (6月) 2日間

<参考>地域の動き

もみじ台まちづくりビジョン		策定 (7月) 市へ提出 (9月)	
---------------	--	-------------------------	--

2. もみじ台地域まちづくり指針検討委員会

令和3年度に地域住民・事業者・有識者から構成される「（仮称）もみじ台地域まちづくり指針検討委員会」を設置し、様々な視点から意見交換を行いました。

2-1 委員

氏名	所属等	分野等
◎ 鈴木 克典	北星学園大学 経済学部 経営情報学科 教授	都市計画
新田 雅子	札幌学院大学 人文学部 人間科学科 准教授	福祉
小高 咲	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事長	経済
庄田 健助	(株)Localize 代表取締役	地域コミュニティ
野地 秀一	(株)ホクノ一 代表取締役社長	商業
杉下 圭史	札幌もみじ台西郵便局 局長	近隣センター
朝倉 由紀子	SOC(株) 代表取締役社長	テクノパーク
東 健二郎	もみじ台自治連合会 会長	地域住民
高澤 英治	もみじ台まちづくり会議 副議長	地域住民
二峰 章	あつべつ区民協議会 委員	地域住民
須貝 淑郎	もみじ台市営住宅自治会連絡協議会 会長	地域住民

（順不同、敬称略）

◎:委員長

事務局:札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課

2-2 開催経過

	日時・会場	内容
第1回	令和4年（2022年）3月28日（月） 13時30分～16時00分 もみじ台管理センター 2階大会議室	もみじ台地域の概要・現状について 今後の進め方について
第2回	令和4年（2022年）9月30日（金） 13時30分～15時30分 厚別区役所 3階講堂	もみじ台地域のまちづくりの方向性について
第3回	令和5年（2023年）2月13日（月） 10時00分～12時00分 厚別区役所 2階会議室A・B	もみじ台地域まちづくり指針（素案）の概要について
第4回	令和5年（2023年）8月4日（金） 13時30分～15時30分 厚別区役所 2階会議室A・B	もみじ台地域まちづくり指針（案）について

3. 説明会・オープンハウス

3-1 義務教育学校の設置に向けた候補地の検討に関する説明会

義務教育学校の設置候補地として検討している市営住宅もみじ台団地E1～E6号棟の入居者の方を対象に、まちづくり指針の検討経緯や義務教育学校の設置候補地についてお知らせする住民説明会を開催しました。

日時	令和4年（2022年）12月22日（木）①14時00分～ ②18時00分～
場所	もみじ台管理センター 2階 ホール
対象	市営住宅もみじ台団地E1～E6号棟の入居者
内容	<ul style="list-style-type: none">・まちづくり指針の検討経緯について・義務教育学校の設置候補地について・まちづくり指針・義務教育学校設置検討の今後の進め方について

3-2 オープンハウス

会場内にパネルや資料を展示し、常駐した職員が来場者の意見を広く伺うオープンハウスを実施しました。

(1) 開催概要

1日目	日時	令和5年（2023年）6月2日（金）13時30分～17時30分
	場所	ホクノースーパー中央店 2階 健康ステーション
2日目	日時	令和5年（2023年）6月4日（日）10時00分～17時00分
	場所	もみじ台管理センター2階 大会議室
開催形式	会場内にご用意した展示パネルや資料をご覧いただき、ご来場の皆様からのご質問やご意見を常駐の職員がお伺いしました	
来場者数	のべ160名（6月2日：94名、6月4日：66名）	

(2) いただいたご意見・ご質問

- 直接説明を聞いて意見を伝えられる機会は有意義であったという声を多くいただきました。
- まちづくり指針については、若い世代の流入に力を入れてほしい、便利な施設が増えてほしいなど、将来像・目標や土地利用再編に関するご意見をいただきました。
- 義務教育学校については、地域の中心部にあった方がよい、学力が向上するとよい、児童に細やかな対応ができる小規模校の方がよいなど、様々なご意見をいただきました。また、義務教育学校の設置候補地にある市営住宅にお住まいの方々の移転時期や移転先に関するご質問や、移転に対する不安・懸念のお声をいただきました。
- 市営住宅については、早く建替えてほしい、建替えのスケジュールを示してほしいなどのご意見をいただきました。
- まちづくりの進め方については、まちの変化が楽しみなので早く進めてほしい、今後も地域住民の意見を聞きながら検討してほしいなどのご意見をいただきました。

分類	ご意見・ご質問の内容
オープンハウスに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討状況をよく理解できた。今後もこのような取組をもっと実施してほしい。 ・ 疑問を直接聞くことができよかった。
将来像・目標・取組の方向性に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みやすさや子育てしやすさをアピールして、若い世代の流入に力を入れてほしい。 ・ 人口減少を見据えた将来像ではなく、人口増加を目指す将来像にするべき。 ・ 既存のバスは便利なので維持してほしい。また、北広島方面やテクノパーク方面と行き来しやすい交通手段や地域内を循環する交通手段があればさらによい。 ・ 屋内外でバリアフリー化を推進して、暮らしやすいまちにしてほしい。 ・ 避難場所は住民が普段から利用する施設の方がよい。
土地利用再編に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり指針案の土地利用再編の考え方はもみじ台地域の特性をよく捉えている。 ・ 飲食店やカフェ、コンビニ、パン屋さん、病院、アパートなど便利な施設が増えてほしい。そうなれば、もみじ台に住みたいと思う人が増えるかもしれない。 ・ 若い世代の流入を図るためにも生活利便施設が必要。 ・ もう少し柔軟な土地利用ができるように地区計画を見直すべき。 ・ よい景観がたくさんある歩いて楽しいまちになるとよい。また、歩きやすいまちになるように誰でも気軽に訪れることができる休憩スペースを設けてほしい。

分類	ご意見・ご質問の内容
土地利用再編に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・熊の沢公園は大変眺望が素晴らしいので、現状を維持するべき。 ・市営住宅等公共施設の跡地に、企業を誘致してはどうか。 ・もみじ台南中学校の跡地はどのように活用するのか。 ⇒（札幌市回答）今後、跡活用に向けて地域の皆様と協議し、活用の考え方をまとめたいと考えています。
市営住宅に関すること	<p data-bbox="501 479 842 517">【E1～6号棟に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転時期や移転先はいつ決まるのか。不安なので、早く示してほしい。 ⇒（札幌市回答）現時点で移転することについて決定しているものではなく、まちづくり指針で義務教育学校を含むまちづくりの方向性が定まった後、説明会を行ったり、個別に希望を伺うなど、段階を踏みながら調整を行っていくことを想定しています。 ・E1～6号棟の住民はすぐに移転しなければならないと聞き不安に思っていたが、オープンハウスで詳しく話を聞き、すぐに移転が始まるわけではないことを知って安心した。 ・高齢で引っ越したくない住民も一定数いる。 <p data-bbox="501 949 887 987">【市営住宅全体に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な建て替えの順番やスケジュールを早く示してほしい。 ・トイレやお風呂が使いにくく、エレベーターもないので不便。早く建て替えてもらいたい。 ・市営住宅の再編により、知り合いと離れ離れになってしまうのは嫌だ。
義務教育学校に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・通学のことを考えると、学校は中心部にあった方がよい。 ・もみじ台中学校までの通学距離が長くて大変なので、早く義務教育学校を設置してほしい。 ・小さな子どもがいるので、義務教育学校という新たな取組に魅力を感じる。 ・義務教育学校の設置によって、学力が上がればよい。 ・先生が児童一人一人に対応することができるので、小規模校の方がよい。 ・義務教育学校は、通う児童の年齢差があり、教職員の負担が大きい。また、児童たちも戸惑うと思うので、義務教育学校の設置には反対。 ・義務教育学校の必要性について、もっと地域の中で議論すべき。 ・義務教育学校のメリット・デメリットなどの詳細について、もっと周知を図るべき。 ・義務教育学校はいつ頃開校する予定か。 ⇒（札幌市回答）義務教育学校の設置については現在検討中のため、具体的な開校時期は未定です。 ・児童会館を義務教育学校に複合化するのはよい。 ・児童会館の複合化について、学校から遠い場所に住む児童は、特に冬季は夕方の暗い中を歩かねばならないので、身近に位置している方がよい。

分類	ご意見・ご質問の内容
まちづくりの進め方に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・まちが変わっていくことが楽しみなので、早く進めてもらいたい。 ・まちづくり指針や土地利用再編方針など、段階的に計画を検討していくという今後の流れが理解できた。 ・まちづくり指針の次に検討するとしている土地利用再編方針はいつ頃決まるのか。 <p>⇒（札幌市回答）具体的な予定は決まっていますが、少なくとも3年程度は検討に時間を要すると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場まで訪れることが難しい住民もいるので、そうした人たちからの意見を聴取するために、今後はアンケートの実施など検討してほしい。 ・指針やまちづくりの取組に関する周知にもっと力を入れてほしい。 ・インターネットでの広報になじみがない年齢層が多いので、紙面でも周知してほしい。

4. もみじ台まちづくりニュース

もみじ台地域まちづくり指針の策定に向けた取組などもみじ台地域のまちづくりに関して、地域の方々に広くお知らせするため、「もみじ台まちづくりニュース」を発行しています。

もみじ台まちづくりニュース発行概要

	主な内容
第1号 (令和4年(2022年)7月発行)	<ul style="list-style-type: none">もみじ台地域まちづくり指針の策定に向けて第1回まちづくり指針検討委員会の開催
第2号 (令和4年(2022年)12月発行)	<ul style="list-style-type: none">もみじ台まちづくりビジョンの提出第2回まちづくり指針検討委員会の開催
第3号 (令和5年(2023年)5月発行)	<ul style="list-style-type: none">義務教育学校の設置に向けた候補地の検討に関する説明会の開催第3回まちづくり指針検討委員会の開催
第4号 (令和5年(2023年)8月発行)	<ul style="list-style-type: none">もみじ台地域まちづくり指針の検討に関するオープンハウスの開催
第5号 (令和5年(2023年)10月発行)	<ul style="list-style-type: none">もみじ台地域まちづくり指針(案)について第4回まちづくり指針検討委員会の開催
第6号 (令和5年(2023年)12月発行)	<ul style="list-style-type: none">もみじ台地域まちづくり指針(案)に係るパブリックコメントの実施について



札幌市からのお知らせ
もみじ台まちづくりニュース No.1

もみじ台まちづくりニュースを刊行します

札幌市では、これからのもみじ台地域のまちづくりを地域の皆様と協力して進めていくため、まちづくりに関する事業や取組の情報を発信する「もみじ台まちづくりニュース」を刊行することとしました。

まちづくり指針の策定に向けて

もみじ台地域は住宅地として開発されてからおよそ50年が経過し、現在は人口減少・少子高齢化が進行しており、地域コミュニティの担い手不足や市営住宅の老朽化など様々な課題に直面しています。

これらの課題に対応するため、札幌市では、これからのまちづくりの目指す将来像や目標を示す「もみじ台地域まちづくり指針」を策定することとしました。

もみじ台地域の人口減少と少子高齢化の状況



第1回まちづくり指針検討委員会を開催しました

「もみじ台地域まちづくり指針」の策定に向けて、地域住民、事業者、有識者と意見交換を行うため、「もみじ台地域まちづくり指針検討委員会」を設置し、令和4年3月28日に1回目の検討委員会を開催しました。

◆委員構成

役職	氏名 (敬称略・姓付)	所属等(令和4年3月時点)
委員長	鈴木 克典	北星学園大学 経済学部 経営情報学科 教授
議務推進者	新田 雅子	札幌学院大学 人文学部 人間科学科 准教授
委員	小高 咲	東北道第二十一世紀総合研究所 取締役副社長
	任田 健助	株式会社 Localize 代表取締役
	野地 秀一	株式会社 ノー代表取締役社長
	杉下 圭史	札幌もみじ台西郵便局 局長
	明倉 由紀子	SOCC株式会社 取締役社長
	栗 健二郎	もみじ台自治連合会 会長
	高澤 英治	もみじ台まちづくり会議 副議長
	二峰 章	あつべつ区民協議会 委員
	須貝 淑郎	もみじ台市営住宅自治会連帯協議会 会長

事務局：札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課

◆開催概要

日時：令和4年(2022年)3月28日(月) 13時30分～16時00分
 会場：もみじ台管理センター2階大会議室

◆会議概要

事務局からもみじ台地域の概要と現状について説明した後、もみじ台地域のまちづくりについて意見交換を行いました。

もみじ台地域の概要と現状(事務局からの説明)

- 緑豊かで閑静な住宅地がひろがっている
- 地区計画変更による規制緩和など、地域と行政が連携してまちづくりを進めてきた
- まちづくりセンター別の高齢化率が市内で最も高い
- 戸建住宅の住み替えはある程度進んでいるが、今後は空室率・空地増加が懸念される
- 札幌市の約20%の市営住宅が集積しており、古いもので第50年を迎える
- もみじ台地域の中心部に小中一貫校を設置することを要望を地域からいただいた
- 「もみじ台まちづくり会議」のワーキンググループにおいて、まちづくりの活動指針となる「もみじ台まちづくりビジョン」を作成中

委員の主な意見

まちづくりの方向性

- 若い世代が住みやすいまちづくりを推進する
- 子育て世代向けの取組を推進する
- 市営住宅の更新に伴い余剰地が生まれるのであれば、今後のまちづくりに活用できる
- 緑豊かで閑静な住環境を維持する
- 新さっぽろ、テクノパークとの連携を図る

取組のアイデア

- 義務教育学校(9年制の小中一貫校)で特色のある教育を実施
- 様々な機能が集まる地域の核となる拠点の整備
- 戸建住宅と市営住宅だけでなく、アパートやシェアハウスなど多様な住まい方ができるような住環境の整備
- 公園など子どもたちが安心して遊べる場の整備
- 通勤・通学、買い物などで利用しやすい交通・移動手段の確保
- エリアマネジメント(住民や事業者主体のまちづくり)の推進
- 他都市の事例を参考にしながら良いアイデアを取り入れる

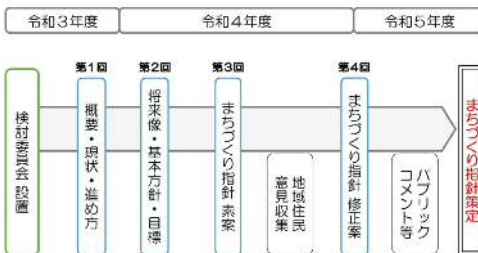
<検討委員会の様子>



※詳しい内容は札幌市ホームページに掲載しております。
 (当ニュースの最後にURL・二次元コードを記載しております。)

今後の予定

- まちづくり指針は令和5年度中の策定を目指します。
- 検討委員会は第1回をもち全4回開催する予定です。
- 第2回の検討委員会は8月以降に開催予定。第1回検討委員会の内容を踏まえて、今後のもみじ台地域の将来像や基本方針・目標などを示します。
- 第3回検討委員会と第4回検討委員会の間に、地域の皆様の意見をお聞きする場を設ける予定です。(開催形式などは今後検討)



※議論の進捗に応じて、適宜見直しながら進めていきます。

問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課(調整担当)
 〒060-0611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
 TEL: 011-211-2545 FAX: 011-218-5113
 E-mail: chiki-chusei@city.sapporo.jp

当ニュースや検討委員会の開催状況・議事概要などは、札幌市公式ホームページにも掲載しております。

URL: https://www.city.sapporo.jp/kekaku/kousai/momi/momiiai_top.html



委員の主な意見

【まちづくりの方向性】

- ・地域で作成したまちづくりビジョンと指針の方向性が概ね一致しており良い
- ・将来像は、地域のこれまでの魅力や財産を大切にしながら今後のまちづくりを善えていくという思いが込められている
- ・防災拠点の整備など、防災の視点も必要
- ・様々な世帯が暮らせる市営住宅の整備を進めることが望ましい
- ・他地域との連携やネットワークの視点が重要
- ・地域の中心部の商業施設等を核としたにぎわいづくりが必要
- ・緑の状況を活かし、地域の魅力向上を図る
- ・地域外の人も魅力的に感じるまちの特徴が必要
- ・住宅セーフティネットとしての市営住宅のあり方など、福祉の観点についても重要
- ・テックパークとの連携による、小中一貫校への出前授業等の啓発や交流機会の創出、職員の派遣推進
- ・子育てが誇りを持ってから使われる場所の充実
- ・ソーラーパネルの導入や地域連携の熱エネルギーの活用による耐震など、善に強い地域づくり



【まちづくりの進め方】

- ・地域が変わるきっかけとなるので、まずは義務教育学校の整備を進めてほしい
- ・住民参加型で、地域の声を取り入れながら取組を進める
- ・具体的な取組の内容や目録、資金調達、実現性などの検討が重要
- ・国の助成制度を活用し、まちづくりを進める
- ・具体的なアイデアを地域住民だけでなく、民間事業者からも募る



今後の予定

第3回の検討委員会は令和5年1月以降の開催を予定しています。主な進捗は、第2回検討委員会までの内容を踏まえて、土地利用のイメージもまとめまちづくり指針案の概要を示す予定です。（まちづくり指針は令和5年度中の策定を予定しています。）

問い合わせ先

札幌市 まちづくり取組局 都市計画部 地域計画課（調整担当）
〒060-0811 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
TEL：011-211-2245 FAX：011-211-2113 / E-mail：ch-plk@city.sapporo.jp

当ニュースや検討委員会の開催状況・諸事概要などは、札幌市公式ホームページにも掲載中

[URL: https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/momiji/momijidal_top.html]

もみじ台地域 検索



札幌市からのお知らせ
もみじ台まちづくりニュース No.2

もみじ台まちづくりビジョンが提出されました

令和4年9月21日、地域が進めるまちづくり活動の指針として作成された「もみじ台まちづくりビジョン」（以下「ビジョン」）が札幌市に提出されました。



手交式の様子

このビジョンは、地域の各種団体から構成されるもみじ台まちづくり会連のワーキンググループが中心となって、令和元年度から意見交換を重ね、検討されたものです。ビジョンでは、地域が目指す将来像や目標を掲げ、将来像のまちの姿をイメージしたゾーニング案も示されています。

第2回まちづくり指針検討委員会を開催しました

「もみじ台地域まちづくり指針」（以下「まちづくり指針」）の策定に向けて、今年3月に開催した第1回に続き、第2回目の検討委員会を開催しました。

開催概要

日時：令和4年（2022年）9月30日（金）13時30分～15時30分
会場：厚別区役所 3階講堂

会議概要

事務局から、検討を進めている「まちづくり指針」について、まちづくりの基本的な考え方、目標や将来像などの案を説明し、まちづくりの方向性や進め方などについて意見交換を行いました。

事務局からの説明内容

もみじ台地域における課題の整理

もみじ台地域の概要と現状、第1回検討委員会でのご意見等及びまちづくりビジョンをもとに、もみじ台地域における課題を以下のとおり整理しました。

- ① 人口減少（まちの活力低下）
- ② 高齢化（まちづくりの担い手不足）
- ③ 少子化（児童生徒数の減少）
- ④ 市営住宅等の公共施設の老朽化

まちづくり指針（案）の検討

●まちづくりの基本的な考え方

全市的に人口減少が見込まれる中、持続的な地域コミュニティを形成できるよう、多様な世代の流入を図る

●目指す将来像・目標

地域課題と検討委員会やまちづくりビジョンの意見から導き出されたまちづくりの視点を踏まえ、もみじ台地域が目指す将来像と目標の案を設定しました。



●土地利用の再編の考え方

もみじ台地域の将来像及び目標の実現に向け、まちづくりの基盤となる土地利用の方を整理するにあたり、地域全体の土地利用の基本方針及び市営住宅等公共施設に関する取組の方向性を以下のとおり整理しました。

●土地利用の基本方針

- ・市営住宅等公共施設の再編に伴い創出される跡地の活用による魅力向上
- ・既存の閑静で良好な住環境の維持
- ・地域課題に対応した地区計画等の土地利用計画制度の活用

●市営住宅の方向性

住宅セーフティネット機能の維持を前提としながら管理戸数を検討し、まちづくりと連携した敷約・建築による再編を推進する。

●義務教育学校の設置検討

地域の要望及び札幌市の方針を踏まえ、通学区域が概ね同一であるもみじの森小学校、もみじの丘小学校、もみじ台中学校を統合し、地域の中心部で義務教育学校の設置を検討する。

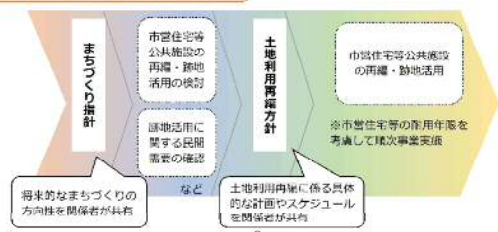
●地域コミュニティ施設の複合化検討

義務教育学校の検討状況を踏まえ、地域コミュニティ施設の複合化について、まちづくり指針においてまちづくりの方向性を整理した上で、地域の意向を確認しながら検討する。

●もみじ台南中学校の跡活用

まちづくり指針においてまちづくりの方向性を整理した上で、地域の意向を確認しながら検討する。

土地利用再編に向けたロードマップ（案）



札幌市からのおしらせ

令和5（2023）年5月発行

もみじ台まちづくりニュース No.3

義務教育学校の設置に向けた候補地の検討に関する説明会を開催しました

義務教育学校[※]の設置については、地域の方が作成した「もみじ台まちづくりビジョン」において要望いただけており、札幌市では、地域のまちづくりの方向性を示す「もみじ台地域まちづくり指針」の検討を進める中で、地域の中心部に義務教育学校を設けることを検討しています。

令和4（2022）年12月22日、義務教育学校の設置候補地として検討しているもみじ台団地E1～E6号棟の入居者の方を対象に、検討状況をお知らせする住民説明会を開催しました。



住民説明会の様子

※義務教育学校：小学校課程から中学校課程までの義務教育を一貫して実施する9年制の学校

第3回まちづくり指針検討委員会を開催しました

◆開催概要

日 時：令和5（2023）年2月13日（月）10時～12時
会 場：厚別区役所 2階大会場

◆会議概要

事務局から、現在検討を進めている「まちづくり指針（素案）」の構成や概要を説明し、意見交換を行いました。



委員会の様子

◆「まちづくり指針（素案）」の概要

別紙資料をご参照ください。

委員の主な意見

【土地利用について】

- ・学校跡地など、利用されなくなった土地の有効活用が必要
- ・幹線道路沿いにはコンビニなどの生活利便施設の立地を認める規制緩和について検討してほしい
- ・地域の北側に「魅力創造エリア」となっているが、義務教育学校の設置候補地や緑の公園がある地域の中心部に、地域の価値を高める魅力的な機能を構築させるのが良いと思う
- ・土地利用計画イメージにおける各エリアの機能のイメージはまちづくりビジョンと概ね一致していると思うので、確定される機能を踏まえた分かりやすい名称を検討してほしい
- ・地域の北側の「魅力創造エリア」は、地域の顔となるような場所である。また、高齢者施設、学校があることを踏まえ、活力に加えて共生の視点も重要

【まちづくりの取組について】

- ・義務教育学校の設置はまちづくりにおける取組の一つの要素であり、まちづくりの背景や全体像を正確に伝えて理解してもらうことが重要
- ・義務教育学校の設置が実現する場合、特設する学校づくりを進めることが必要
- ・テクノパークについては、隣接近接の拠点や学びに関する取組の中で連携が進むと良い
- ・高齢化が一層進むことが想定されることから、交通利便性の確保は重要な視点
- ・商業施設などに隣接したコワーキングスペースがあると、若い世代が集まり交流が生まれる
- ・地域の良い環境を維持するほか、活力が生まれる仕掛けが求められている
- ・災害への備えとして、雪対策について検討が必要と考える
- ・今後、地域振興による熱供給のあり方について議論が必要
- ・魅力的な地域づくりに向けて、画一的なデザインとならないように地域と意図する仕組みづくりが重要



◆今後の予定

まちづくり指針の検討内容について、令和5年6月以降、オープンハウス[※]を開催し、もみじ台地域の皆さまからご意見を伺う機会を設ける予定です。

また、第4回の検討委員会は令和5年7月以降の開催を予定しています。主な議題は、第3回検討委員会までの内容や、地域の皆さまからのご意見を踏まえて、まちづくり指針の案を示す予定です。（まちづくり指針は令和5年度中の策定を予定しています。）

令和5年度



※オープンハウスとは？

会場内に展示したパネルや資料をご覧いただき、疑問や意見を担当者がお伺いする形式の説明会です。



イメージ写真

オープンハウスの開催については、詳細が決定次第、別途ご案内いたします。

◆問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策課 都市計画部 地域計画課（調整担当）
〒060-0861 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
TEL：011-211-2545/FAX：011-218-5113/E-mail：chiki-chosei@city.sapporo.jp

当ニュースや検討委員会の開催状況・議事概要などは、札幌市公式ホームページにも掲載中
URL：https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kousai/momiji/momijidai_toshin.htm

もみじ台地域



8-075-01
02-663-18-177
R5-3-110

もみじ台地域まちづくり指針（素案）の概要について

※この素案の内容は現在検討中であり、決定しているものではありません。

別紙資料

1 目的と位置づけ

1-1 目的

もみじ台地域の現状や課題を踏まえ、将来的な土地利用の再編を展望した今後のまちづくりの方向性を示す。

1-2 位置づけ

地域住民等と札幌市が協賛・共有する今後のまちづくりの指針

1-3 対象範囲

もみじ台地域（もみじ台北1～7丁目 もみじ台東1～7丁目
もみじ台南1～7丁目 もみじ台西1～7丁目）

2 現状と課題

2-1 現状

(1) 基本情報

①位置・周辺状況



※このほかにも、用途地域・地区計画、生活利便施設等の立地状況、市営住宅、学校・教育施設、もみじ台管理センター、公園・緑地、道路バス、土地の状況、防災の取組について記載



(2) 地域のまちづくり活動

①もみじ台まちづくりビジョン

もみじ台地域の自治会等が構成される「もみじ台まちづくり会議」のワーキンググループが中心となり、まちが目指す将来像を実現するために地域が進めるまちづくり活動の指針として令和4年7月に作成。



もみじ台地域のゾーニング図案（もみじ台まちづくりビジョンより）

2-2 課題

- ①人口減少（まちの活力低下）
- ②高齢化（まちづくりの担い手不足）
- ③少子化（児童生徒数の減少）
- ④市営住宅等の公共施設の老朽化

3 将来像と目標

3-1 まちづくりの基本的な考え方

全市的に人口減少が見込まれる中、持続的な地域コミュニティを形成できるよう、多様な世代の流入を図る

3-2 目指す将来像



3-3 目標

目標1 若い世代をはじめとした様々な世代が住みたくなるまち

<取組の方向性>

- 1) 多様な住まい方：ライフスタイルに応じた多様な住まい方を実現する住環境づくり
- 2) 子どもと子育て世代の支援：若い世代や子育て世代が住みやすい環境の整備
- 3) 教育環境の充実：子どもたちの可能性を広げる学びや成長の機会の充実

目標2 にぎわいあふれる新たな交流が生まれるまち

<取組の方向性>

- 4) 公共施設活用：民間活力の導入も見据えた市営住宅等の公共施設跡地の活用
- 5) にぎわい創出：中心部や幹線道路沿いを中心に、地域のにぎわいを創出する機能的誘導
- 6) 地域コミュニティの維持・形成：互いに支えあい誰もが自分らしく活躍できる地域を目指し、住民同士の交流を継続しながら、持続的な地域コミュニティを形成
- 7) 周辺地域との連携：新さっぽろやテクノパークなど周辺との連携

目標3 豊かな住環境を維持し、子どもや高齢者をはじめ、誰もが安心して快適に住み続けられるまち

<取組の方向性>

- 8) 豊かな住環境の維持：みどりや雪がで暮らしやすい自然豊かな住環境を維持
- 9) 交通利便性の確保：地域の移動を支える交通網の維持などによる交通利便性の確保
- 10) 環境への配慮：環境に配慮した持続可能なまちづくり
- 11) 災害への備え：地域特性も踏まえた災害に強いまちづくり
- 12) 先端技術の活用：ICT技術の活用や官民のデータ連携等による生活利便性の向上

◆当日の様子



ご来場いただいた皆様には、ご意見をお聞かせいただいたり、アンケートにご回答いただくなど、ご協力を賜り誠にありがとうございます。お問い合わせいただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。

◆今後の予定

第4回の検討委員会は令和5年8月以降の開催を予定しています。主な議題は、第3回検討委員会までの内容や、オープンハウスでお伺いした地域の皆さまからのご意見を踏まえて、まちづくり指針の案を示す予定です。その後、パブリックコメントを実施して、令和5年度中にまちづくり指針を策定する予定です。



◆問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課（調整担当）
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
TEL：011-211-2545/FAX：011-218-5113/E-mail：chiki-chosei@city.sapporo.jp

当ニュースや検討委員会の開催状況・議事概要などは、札幌市公式ホームページにも掲載中
【URL：https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kuasai/momiji/momijidai_top.html】



札幌市からのお知らせ

令和5（2023）年8月発行

もみじ台まちづくりニュース No.4

◆もみじ台地域まちづくり指針の検討に関するオープンハウスを開催しました

現在、札幌市では、もみじ台地域のまちづくりの方向性を示す「（仮称）もみじ台地域まちづくり指針」（以下「まちづくり指針」）の策定に向けた検討を進めております。この度、令和5（2023）年6月2日（金）と4日（日）の2日間にかけて、まちづくり指針の案概要や今後のまちづくりについて、地域の皆様のご意見やご質問を伺うため、オープンハウスを開催しました。

※オープンハウスとは、会場内に表示したパネルや資料をご覧いただき、疑問や質問を会場内に滞在する期間をお伺いする形式の説明会です。

◆日時・会場

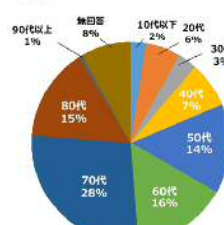
1日：令和5（2023）年 6月 2日（金） 13時30分～17時30分
ホクノースーパー中央店2階 健康ステーション

2日：令和5（2023）年 6月 4日（日） 10時00分～17時00分
もみじ台管理センター2階 大会議室

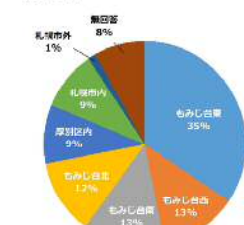
◆来場者数・属性

のべ160名（6月2日：94名、6月4日：66名）

<年代>



<お住まい>



いただいたご意見やご質問

◆概要

- ▶ 直接説明を聞いて意見を伝えられる機会が有意義であったという声を多くいただきました。
- ▶ まちづくり指針については、若い世代の流入に力を入れてほしい、便利な施設が増えてほしいなど、将来像・目標や土地利用再編に関するご意見をいただきました。
- ▶ 義務教育学校については、地域の中心部にあった方がよい、学力が向上するとよい、児童にゆやかな対応ができる小規模校の方がよいなど、様々なご意見をいただきました。また、義務教育学校の設置候補地にある市営住宅にお住まいの方々の移転時期や移転先に関するご質問や、移転に対する不安・懸念のお声をいただきました。
- ▶ 市営住宅については、早く建設してほしい、建設費のスケジュールを示してほしいなどのご意見をいただきました。
- ▶ まちづくりの進め方については、まちの変化が楽しみなので早く進めてほしい、今後も地域住民の意見を聞きながら検討してほしいなどのご意見をいただきました。

分類	ご意見やご質問の内容
オープンハウスに関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・検討状況をよく理解できた。今後このような取組をもっと実施してほしい。 ・疑問を直接聞くことができてよかった。
将来像・目標・取組の方向性に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすさや子育てしやすいまちをアピールして、若い世代の流入に力を入れてほしい。 ・人口減少を見越した将来像ではなく、人口増加を目指す将来像にすべき。 ・既存のバスは便利なので維持してほしい。また、北広島方面やテクノパーク方面と行き来しやすい交通手段や地域内を循環する交通手段があればさらによい。 ・屋内外でバリアフリー化を推進して、暮らしやすいまちにしてほしい。 ・遊歩道等は住民が自然に利用する施設の方がよい。 ・まちづくり指針案の土地利用再編の考え方はもみじ台地域の特性をよく捉えている。 ・飲食店やカフェ、コンビニ、パン屋さん、商店、アパートなど便利な施設が増えてほしい。そうすれば、もみじ台に住みたいと思う人が増えるかもしれない。 ・若い世代の流入を図るために生活利便施設が必要。 ・もう少し柔軟な土地利用ができるように地区計画を見直すべき。
土地利用再編に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・よい駅前がたくさんある歩いて楽しいまちになるとよい。また、歩きやすいまちになるように進めてほしい。 ・鶴の沢公園は大変期待がすばらしいので、現状を維持すべき。 ・市営住宅等公共施設の建設に、企業を誘致してほしい。 ・もみじ台中学校の跡地はどのように活用するのか。⇒（札幌市回答）今後、跡活用に向けて地元の皆様と協議し、活用の考え方をまとめていきたいと思います。

分類 ご意見やご質問の内容

	<p>【E1～E6当様に關すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転時期や移転先はいつ決まるのか、不安なので、早く示してほしい。⇒（札幌市回答）現時点で移転することについては決定しているものではなく、まちづくり指針で義務教育学校を含むまちづくりの方向性が定まった後、説明会を行ったり、御前へ希望を伺ったり、御意見を伺いながら調整を行っていくことを想定しています。 ・E1～E6号棟の柱間はすぐに移転しなければならないと聞か不安に思っていたが、オープンハウスで詳しく話を聞き、すぐに移転が始まるわけではないことを知りて安心した。
市営住宅に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢で引っ越したくない住民も一定いる。 【市営住宅全体に關すること】 ・具体的な建て替えの経費やスケジュールを早く示してほしい。 ・トイレやお風呂が狭いので、エレベーターもないので不便。早く建設してもらいたい。 ・市営住宅の再編により、知り合いと離れ離れになってしまうのは嫌だ。 ・進学のことを考えると、学校は中心部にあった方がよい。 ・もみじ台中学校までの通学距離が長く大変なので、早く義務教育学校を設営してほしい。 ・小さな子どもがいるので、義務教育学校という新たな取組に魅力を感じる。 ・義務教育学校の設置によって、学力が上がればよい。 ・先生が児童一人一人に対応することができるので、小規模校の方がよい。 ・義務教育学校は、違う児童の年齢差があり、教員の負担が大きい。また、児童たちも戸惑うと思うので、義務教育学校の設置には反対。 ・義務教育学校の必要性について、もっと地域の中で議論するべき。 ・義務教育学校のメリット・デメリットなどの詳細について、もっと周知を回すべき。 ・義務教育学校はいつ開校する予定か。⇒（札幌市回答）義務教育学校の設置については現在検討中のため、具体的な開校時期は未定です。 ・児童会館を義務教育学校に統合するのはよい。
義務教育学校に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会館の統合化について、学校から近い場所に住む児童は、特に冬は夕方の始末が歩かなくてはならないので、身近に位置している方がよい。 ・まちが変わっていくことが楽しみなので、早く進めてもらいたい。 ・まちづくり指針や土地利用再編方針など、段階的に計画を検討していくという今後の流れが理解できた。
まちづくりの進め方に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり指針の案に検討するとしている土地利用再編方針はいつ決まるのか。⇒（札幌市回答）具体的な進め方は決まっていますが、少なくとも3年程度は特別に時間を要するかと考えています。 ・会議場で話せることが難しい住民もいるので、そうした人々からの意見を聴取するために、今後はアンケートの活用にもっと力を入れてほしい。 ・指針やまちづくりの取組に関する周知にもっと力を入れてほしい。 ・インターネットでの広報になじみがない年齢層が多いので、紙面でも周知してほしい。

札幌市からのお知らせ
もみじ台まちづくりニュース No.5

令和5(2023)年10月発行

◆ 第4回まちづくり指針検討委員会を開催しました

◆ 開催概要

日時：令和5(2023)年8月4日(金) 13時30分～15時30分
 会場：厚別区役所 2階大会議室A・B

◆ 会議概要

事務局から令和5年6月2日(金)、4日(日)に実施したオープンハウスの開催結果を報告するとともに、「まちづくり指針(案)」について説明し、意見交換を行いました。



委員会の様子

◆ 「まちづくり指針(案)」の概要

別紙資料をご参照ください。

委員の主な意見

【まちづくり指針(案)について】

- まちづくり指針(案)は、よくまとまっている。土地利用再編イメージは、まちづくりビジョンをはじめとする地域住民の意見を反映しつつ、当委員会でも議論してきた内容に沿っている。
- 札幌市の政策に位置づけられてまちづくり指針が策定されることは、もみじ台地域のまちづくりにとって大きな一歩になる。地域が作ったまちづくりビジョンをきちんと整理されていることも大きな特徴である。
- 新たなまちづくりが進み、若い世代が増えたとしても、40～50年後には高齢化が進んで多と同じような状況になりかねないため、世代交代を意識した土地利用を考えていかなければならない。こうした持続性に関する観点を表現できればよい。
- まちづくり指針(案)3-1まちづくりの基本的な考え方の表現が淡白なので、「どのようなまちを目指すのか」伝わりやすくなるよう過剰ではどうか。
- 若い世代の流入につなげる方向性を加えることができればよい。
- まちづくり指針は大きな方向性を示すものであるため、個別具体の話をする段階ではないと思うが、指針策定後の取組について少しでも具体的な見通しが表裏できれば、市営住宅にお住まいの方々の不安も軽減されるのではないかと。



【まちづくりの取組について】

- 義務教育学校については、人口減少・少子化の進行を理由に区域内の学校を統合して新しい学校を創設してほしいということではなく、例えば英語教育、IT教育、スポーツ教育など、若い世代が魅力を感じる特色のある教育を行う学校を作してほしい。
- 隣接するテクノパークと連携して、実際の仕事の見学や体験をできるようにするなど、義務教育学校で特色ある教育活動を行うことにより、子どもたちが将来の夢を見つけるきっかけになればよい。また、テクノパークで働く方の中にはもみじ台に住みたいと考えている方もいるので、駅との距離などでも連携していければよい。
- 安平町にある小中一貫校の早学学園は、まちづくりセンターなど、色々な公共機能が複合化している。もみじ台地域の義務教育学校の参考にしてほしい。
- 新さっぽろ駅と近接していることも、若い世代にもみじ台に来てもらうためのアピールポイントの一つになると思う。
- 市営住宅の建替えでは、エレベーターを設置するなど暮らしやすさに配慮してもらいたい。
- 地域住民は、市営住宅がいつ頃建替えになるのか気になっているので、土地利用再編方針では何年度を目標に動き始めるなど、なるべく早くスケジュールを示すことが重要。
- まちづくり指針策定後、すぐに市営住宅の更新や義務教育学校の設置などに関する具体的な計画を立てて事業に着手してほしい。
- 指針策定後の土地利用再編方針の検討においても地域住民の意見が重要になるので、まちづくりビジョンの時のように行政が動く前に住民主導で土地利用に関する提案を出していけるとよい。

◆ 今後の予定

今年度中にまちづくり指針を策定することを目指し、今後、まちづくり指針(案)について市民の皆さまから広くご意見を伺うパブリックコメントを実施する予定です。パブリックコメントの実施時期等については、改めてお知らせする予定です。

令和5年度



◆ 問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策課 都市計画部 地域計画課 (調整担当)
 〒060-0811 札幌市中央区北1条西2丁目 本庁市役所本庁舎5階
 TEL: 011-211-2545 / FAX: 011-218-5113 / E-mail: chiki-chosei@city.sapporo.jp

当ニュースや検討委員会の開催状況・議事概要などは、札幌市公式ホームページにも掲載中
 URL: https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kousai/momiji/momiji_toshin.html

もみじ台地域



もみじ台地域まちづくり指針(案) <概要版>

別紙資料

1 目的と位置づけ

- もみじ台地域は、約50年前に札幌市が開発した住宅地であり、道庁のとれたゆとりある住環境が形成されてきた。
- 地下鉄新さっぽろ駅・JR新札幌駅が立地し、多様な都市機能が集積する新さっぽろに立地しており、東側には札幌テクノパークが位置している。
- 近年は人口減少・少子高齢化が進行しているほか、市営住宅をはじめとする公共施設の老朽化が進行し、今後施設更新時期を迎える。
- 「札幌市まちづくり戦略ビジョン」では、「[対外住宅地]として持続可能な住環境の形成や地域の魅力の創出を図ることとしている。
- 本指針は、こうした地域の現状や課題に対応するため、有識者等による検討委員会や地域住民の意見を踏まえ、将来的な土地利用の再編を見据えたまちづくりの方向性を示すものである。



2 現状と課題

2-1 現状

(1) 基本情報

- もみじ台地域の人口は年々減少しており、老年人口(65歳以上)の割合が増加している。
- 市営住宅もみじ台地区は昭和46(1971)年から昭和61(1986)年に建設された市内最大規模の市営住宅。
 【団地の状況】※令和5(2023)年3月時点
 棟数：146棟
 管理戸数：5,530戸(市内市営住宅の約20%)
 入居戸数：4,345戸(空室世帯率21.4%)
- 児童生徒数の減少に伴い、平成23(2011)年に小学校4校が2校に、令和4(2022)年に中学校2校が1校に統合。
- 地域の中心部には、もみじ台ショッピングセンターやもみじ台管理センター、道の駅公園が立地している。
- もみじ台地域と新さっぽろの間で8系統がバスが運行しており、地域住民の移動を支えている。
- もみじ台地域の市営住宅や新さっぽろの商業施設等には、廃棄物を再利用した原料を活用する熱供給システムが導入されている。



(2) 地域のまちづくり活動

- 令和4(2022)年7月、もみじ台地域の自治会等が構成される「もみじ台まちづくり会議」のワーキンググループが中心となり、まちが目指す将来像を実現するために地域が進めるまちづくり活動の指針として「もみじ台まちづくりビジョン」を策定。

2-2 課題

- ① 人口減少
まちの活力低下
- ② 高齢化
まちづくりの担い手不足
- ③ 少子化
児童生徒数の減少
- ④ 市営住宅等の
公共施設の老朽化

3 将来像と目標

3-1 まちづくりの基本的な考え方

全学的に人口減少が見込まれる中、持続的な地域コミュニティを形成できるよう、多様な世代の流入を図る

3-2 目指す将来像



3-3 目標

目標1 若い世代をはじめとした様々な世代が住みたくなるまち

<取組の方向性>

- 1) 多様な住まいの実現：ライフスタイルに応じた多様な住まい方を実現する住環境づくり
 - 2) 子どもと子育て世代の支援：若い世代や子育て世代が住みやすい環境の整備
 - 3) 教育環境の充実：子どもたちの可能性を広げる学びや成長の機会の充実
- 目標2 にぎわいにあふれた新たな交流が生まれるまち
- <取組の方向性>
- 4) 公共資源の活用：民間活力の導入も見届えた市営住宅等の公共施設跡地の活用
 - 5) にぎわい・交流の創出：中心部や幹線道路沿いを中心に、地域のにぎわい・交流を創出する機能的誘導
 - 6) 地域コミュニティの維持・形成：互いに支え合い、誰もが自分らしく活躍できる地域を目指し、住民同士の交流を継続しながら、持続的な地域コミュニティを形成
 - 7) 周辺地域との連携：新さっぽろやテクノパークなど周辺との連携
- 目標3 豊かな住環境を維持し、子どもや高齢者をはじめ、誰もが安心して快適に住み続けられるまち

<取組の方向性>

- 8) 豊かな住環境の維持：みどりが豊かで暮らしやすい閑静で良好な住環境を維持
- 9) 交通利便性の確保：地域の移動を支える交通網の維持などによる交通利便性の確保
- 10) 環境への配慮：環境に配慮した持続可能なまちづくり
- 11) 災害への備え：地域特性も踏まえた災害に強いまちづくり
- 12) 先端技術の活用：ICT技術の活用や官民のデータ連携等による生活利便性の向上

第5号

4 土地利用再編の考え方

4-1 土地利用の基本方針

① 市営住宅等公共施設の再編に伴い創出される跡地の活用による魅力向上
 地域の魅力や生活利便性を向上させるため、民間活力の導入などにより、市営住宅をはじめとする公共施設の再編によって創出される跡地を活用

② 良好な住環境の維持・形成
 豊かな自然と調和した閑静な環境を保全し、誰もが安心・快適に暮らすことができる良好な住居市街地を形成

③ 地域課題に対応した土地利用計画制度の運用
 札幌市の都市計画マスタープランや今後のもみじ台地域の土地利用再編の方針等を踏まえて、用途地域や地区計画の見直しなど、土地利用のルールを適切に運用

4-2 公共施設に関する方向性

① 市営住宅もみじ台団地の再整備

住宅セーフティネットとしての機能の維持を基本としながら管理戸数を核として、まちづくりと連携した集約・建替えによる持続可能な市営住宅もみじ台団地の再整備を進める。

② 義務教育学校の設置

「地域の中心部への義務教育学校の設置」という地域の要望と「系統性・連続性のある教育を実現し、子どもの育ちの一環の充実に資することを目的とする小中一貫した教育を充実させるため、進学区域が概ね一致する小中学校の成舎の一休整備を行う場合は義務教育学校を設置する」という札幌市の方針を踏まえ、もみじの南小学校、もみじの丘小学校、もみじ台中学校を統合し、地域の中心部での義務教育学校の設置に向けて検討・調整を行う。

③ 地域コミュニティ施設の複合化

子どもを中心とした多世代交流の場の形成による地域コミュニティの活性化を図出し、老朽化が進むもみじ台管理センター（まちづくりセンターを含む）、児童会館が担う機能を義務教育学校に集約し、地域コミュニティ施設を複合化することについて、地域の意向を確認しながら検討する。

④ もみじ台南中学校の跡活用

校舎解体後の跡地の活用について、本指針に示すもみじ台地域全体のまちづくりの方向性を踏まえ、地域の意向を確認しながら検討する。

4-3 土地利用再編イメージ

① 活力・共生エリア

様々な世代の流入による地域の活力向上を目指し、新さっぽろに近接する立地を活かして、多様な暮らし方や働き方を実現する幅広い機能（例：住居、商業施設、飲食店、医療福祉施設、業務施設など）を誘導

② にぎわい・交流エリア

もみじ台地域の魅力を高めるため、もみじ台ショッピングセンターや緑の沢公園がある地域の中心としてふさわしいにぎわい・交流を創出する機能（例：商業施設、飲食店、交流広場など）を誘導
 義務教育学校の設置候補地

③ 安心・快適な居住エリア

緑に囲まれた自然豊かな環境を活かした安心・快適に暮らすことができる居住環境の形成を目指し、閑静な住環境を維持しつつ、生活利便性を確保するための機能（例：商業施設、飲食店、医療福祉施設など）を誘導



5 土地利用再編に向けたロードマップ

※ ロードマップ→今後実施予定の取組を同系列順に並べたもの

- 今後のまちづくりにあたっては、関係者が連携して検討を進めることが重要であり、「まちづくり指針」の策定により、まちづくりの方向性について共有を図る。
- 今後は、市営住宅等の公共施設の再編や跡地活用の検討を進め、「土地利用再編方針」として整理・共有を図った上で、段階的にまちづくりを進めていく。



札幌市からのお知らせ

令和5(2023)年12月発行

もみじ台まちづくりニュース No.6

★まちづくり指針(案)に係るパブリックコメントを実施します

これまで検討を進めてきた「もみじ台地域まちづくり指針」の策定に向けて、指針の家を取りまとめましたので、この指針案を広くお知らせし、ご意見を募集するパブリックコメントを実施します。

◆募集期間

令和5年(2023)年12月26日(火)から
令和6年(2024)年1月31日(水)まで【必着】

◆資料配布場所 (※令和5年12月26日から配布を開始します)

- 札幌市役所本庁舎【5階】まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課
【2階】市政刊行物コーナー
- 各区役所(総務企画課広域係)
- 厚別区内のまちづくりセンター
(厚別中央、厚別南、厚別西、もみじ台、青葉、厚別東)
- もみじ台管理センター
- 札幌市公式ホームページ
https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/momiji/shishin_publiccomment.html

◆提出方法

郵送、持参、FAX、電子メール、札幌市公式ホームページ
※提出方法の詳細は、配布資料又は札幌市公式ホームページよりご確認ください。

◆留意事項

- 電話・口頭によるご意見は受け付けておりません。
また、ご意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ご意見の提出にあたっては、住所、氏名、年齢を記入してください。
なお、ご意見の概要等を公表する場合がありますが、住所・氏名等の個人情報は公表いたしません。

★問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 (調整担当)
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
TEL: 011-211-2545/FAX: 011-218-5113/E-mail: chiki-chosai@city.sapporo.jp



当ニュースや検討委員会の開催状況・議事概要などは、札幌市公式ホームページに掲載中
[URL: https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kousai/momiji/momijidai_tou.html]

もみじ台地域

